

苗の準備 (塩水選、種子消毒、資材消毒)について

塩水選について

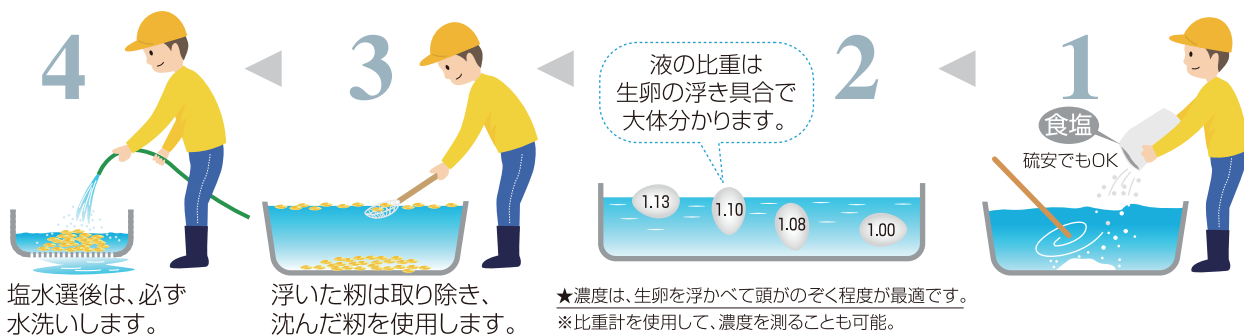
塩水選は、より充実した粉を選別する為に行います。また、良い粉を選別することで発芽が揃って、苗ぞろいが良くなります。

塩水選における比重と食塩、硫安の量			
種類	比重	食塩	硫安
うるち	1.08	1.1kg	1.4kg
もち	1.06	0.8kg	1.0kg

(水10L当たり)

※塩水選の際に使用する卵は、できるだけ新しいものを使用しましょう。
※硫安を使用すると、廃液を作物の液肥として再利用することができます。
※浮いた粉は、実入りが悪く、又、病気などに感染している恐れがあるため取り除きましょう。

塩水選の手順について



種子消毒について

種子消毒は、粉が病気や害虫に侵されないために必ず行いましょう。

※テクリードCフロアブル(200倍希釈)とスミチオン乳剤(1000倍希釈)を混合して薬液を作り、粉を袋詰めしたものを薬液に24時間浸けましょう。

[効果のある病害虫]

テクリードCフロアブル

ばか苗病、いもち病、ごま葉枯病、もみ枯細菌病、苗立枯細菌病、苗立枯病、褐条病

スミチオン乳剤

イネシンガレセンチュウ



資材の消毒について

※資材(育苗箱、催芽機、播種機、シート、ビニール等)は、イチバン乳剤(500~1000倍希釈)に浸した薬液に漬ける、または噴霧器等(シヨウロでも可)で散布して消毒しておきましょう。また、消毒後は、水洗い、乾燥の必要がなく直ちに次の作業に移れます。



水稲一発除草剤が雑草に効く仕組みについて

水稲一発除草剤の散布方法と除草剤処理層について

粒剤（1キロ粒剤）

水中での成分の拡散性を向上させた製剤。

【散布方法】

- 散布器を使用して散布する。
- 田植え機に専用装置を装着し、田植えと同時に散布する。（スラッシュヤーキロ粒剤、シリウスエグザギーキロ粒剤、コメットーキロ粒剤）

フロアブル剤

成分の微粒子を水に分散させた液状の製剤。

【散布方法】

- 畦畔から歩行しながら圃場内に直接手振りで散布する。
- 圃場への入水時に水口に除草剤を施用し、圃場全体へ拡散させる。（パッチリフロアブル）

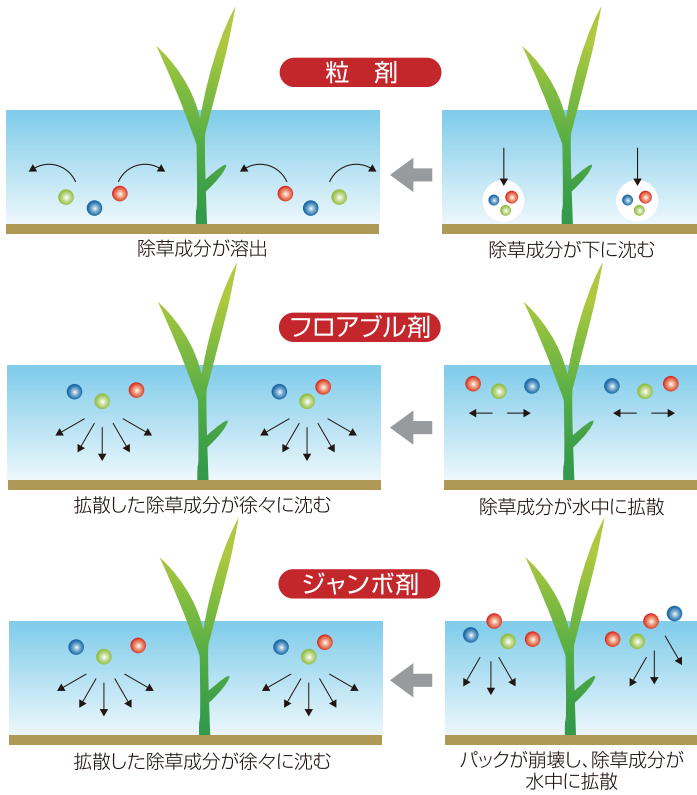
ジャンボ剤

粒剤を水溶性の膜で包装した製剤。（包装は、散布後水に溶けて有効成分が溶出します。）

【散布方法】

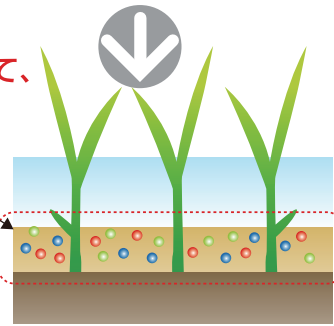
- 畦畔から水田に投げ入れて散布します。（散布器は不要。）

※フロアブル剤、ジャンボ剤を使用する前に圃場に浮き草や藻が目立つたら、モゲトン粒剤を併用して散布しましょう。



散布後、3日～4日かけて、
土壌表面に吸着し、
除草剤処理層を
作ります。

◎除草剤処理層で、各除草剤の成分が雑草（根、幼芽部）に吸収されて、雑草を枯死させます。



水稲一発除草剤を
上手に効かせる
ためのポイント

- 代かき作業を丁寧に行つて凹凸のない均平な田面にし、水面から田面を露出させないようにしましょう。
- 漏水田は、水持ちがよくなるように代かき時に畦塗りをしっかり行いましょう。
- 散布後5日間は、圃場に水を溜めて、漏水がないようにしましょう。

※雨天や降雨が予想される場合は、散布するのを控えましょう。

初期除草剤を使用する際の注意事項



散布後7日間は、圃場に水を溜めて、落水、かけ流しを行つてはいけません。

※農薬使用後の短期間で、落水やかけ流しをしてしまうと、水域の動植物に影響を与える可能性があります。周辺環境の保全のために、水田水を外に出さない水管理を徹底しましょう。

農薬の使用・散布にあたっては、必ずラベルを確認し、ご使用ください。